

## IT 関連の仕事やコンサルタントに不可欠な日本語能力

—社会人は社会人基礎レベルの3級を目指しましょう—

M&I コンサルティング 代表 井上 実氏



「経営と IT の架け橋」となる人材育成とコンサルティングサービスで実績のある M&I コンサルティングの井上代表に、IT 関連の仕事に従事する人とコンサルタントには「日本語能力」が欠かせないという内容の記事を投稿していただきました。井上氏は、コンサルタントとして IT 戦略の立案や IT 人材育成体系構築のコンサルティングをされています。また、コンサルティング・スキル、ヒューマン・スキル、経営知識、業務知識などを、IT 企業や一般企業の IT 部門の方々に対し研修もしています。

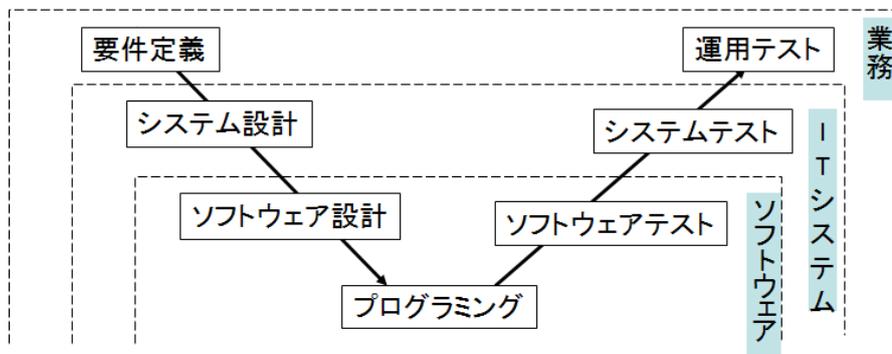
いきなりですが、「文章作成をすることが多い仕事は？」と言われて、どのような職業を思い浮かべるでしょうか？

新聞や雑誌の記者。小説家や脚本家。

しかし、他にもあるのです。それが、IT 関連の仕事とコンサルタント。

コンサルタント会社や IT 関係の企業が日本語検定を団体で受検するケースが増えていますが、その両者に関わる私には、その理由がよく理解できます。

まず、IT 関連の仕事ですが、IT システムを構築するには、次のようなステップをたどります。



各ステップでは、次の文書が作成されます。

1. 要件定義：要件定義書
2. システム設計：システム仕様書
3. ソフトウェア設計：ソフトウェア仕様書
4. ソフトウェアテスト：ソフトウェアテスト仕様書・ソフトウェアテスト結果報告書
5. システムテスト：システムテスト仕様書・システムテスト結果報告書
6. 運用テスト：運用テスト仕様書・運用テスト結果報告書・運用マニュアル・操作マニュアル。

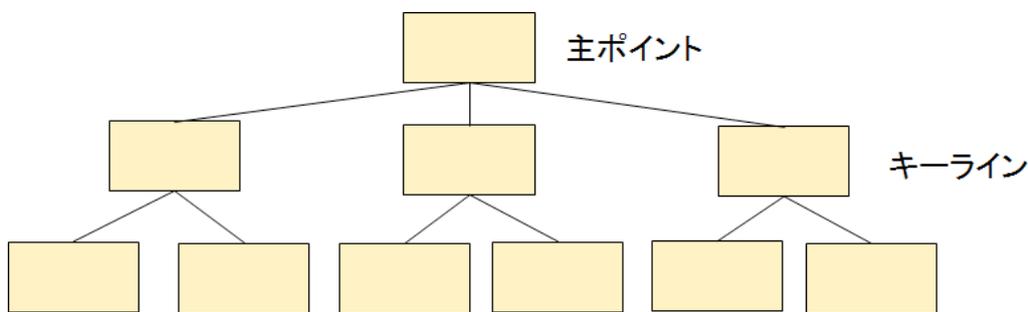
次ページへ

ITシステム構築というと、パソコンに向かってプログラミングをしている姿を想像するかもしれませんが、実は文章を作成することが非常に多いのです。

次にコンサルタントの仕事も、分析内容や提言を文章にして、お客様に正確に伝え、お客様の了解・承認を得てプロジェクトを進めていきます。そして、最終的に「コンサルティング報告書」という、かなりのボリュームになる報告書を作成してお客様に提出します。この報告書がコンサルティングの最終成果物になります。

このように、IT関連やコンサルタントの仕事では、お客様に正確に伝わる文章を書く必要があり、論理的でわかりやすい文章を書く能力が求められます。論理的な文章の構造として、世界的なコンサルティング事務所のマッキンゼーのバーバラ・ミント氏が考え出したが「ピラミッド構造」があり、これを活用した文章作成法は、コンサルタントの間ではデファクト・スタンダード（業界標準）になっています。

「ピラミッド構造」とは次のようなネットワーク構造です。



私はIT企業の方やコンサルタントの方などに、「ピラミッド構造」を利用した文章作成法をお教えしています。

(詳しくは、<http://minoru-inoue.a.la9.jp/kensyumenu/outline30.pdf> をご覧ください)

研修では、受講者の方々にピラミッド構造を利用した論理的な文章の構造や文章を書く手順を紹介し、実際にその手順をたどって、文章を書いてもらいます。しかし、なかには構造は論理的なのですが、残念ながら日本語能力が低いため、わかりやすい日本語の文章になっていないことがあります。やはり、文章作成のベースは言語能力です。日本語で書くのであれば、日本語の能力が高くなければ、構造がいくら論理的であっても、わかりやすい文章にはならないのです。

IT関連の仕事に従事される方やコンサルタントの方、また、それらを目指そうという学生の方は、ぜひ、論理的な文章の書き方の習得だけでなく、日本語力を磨いていただきたいと思います。そのためにも、日本語検定試験はとても有効で、プロのコンサルタントの受検が増えているのも頷けます。まずは、社会人として必須の基礎レベルの3級を目指しましょう。